

2026年6月17日
株式会社三菱UFJ銀行

三菱UFJ銀行・JICA サステナブルファイナンスフレームワーク適用1号案件を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{おおさわ まさかず}大澤 正和）は、3月23日、ブラジル連邦共和国の北東部のバイーア州において同国政府から事業権を得て配電事業を展開している Companhia de Eletricidade do Estado da Bahia（Coelba）との間で融資契約（以下、本融資）を締結いたしました。

本融資は、2025年7月に導入された三菱UFJ銀行と国際協力機構（JICA）の協調融資における「サステナブルファイナンス・フレームワーク」の適用第1号案件でもあります。本フレームワークは、独立した外部機関より、SDGs達成に向けた取り組みとして国際的に認められた各種のサステナブルファイナンス原則との適合性に関する第三者意見を取得しております。

【本融資の概要】

借入人： Companhia de Eletricidade do Estado da Bahia（Coelba）
組成金額： 約235億円（うち、MUFG分約BRL262百万、JICA分約JPY156億）
資金使途： 配電網の整備に必要な設備投資費
備考： 本融資は借入人による配電システムのデジタル化や女性電気技師の割合増加に関する取り組みに応じて、金利を引き下げるインセンティブを付与するサステナビリティリンクローンでもあります。

【資金使途詳細】

適格プロジェクト	プロジェクト詳細
送電・配電網の整備	<p>プロジェクト区分</p> <ul style="list-style-type: none">● エネルギーアクセスの改善 <p>プロジェクト目的</p> <ul style="list-style-type: none">● 電力ロス抑制による省エネルギー化や再生可能エネルギーを主な電源とする同地域の電力の安定供給 <p>対象となる人々</p> <ul style="list-style-type: none">● ブラジルの最貧困地域の一つであるバイーア州の住民

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

関連リンク：[ブラジル「北東部クリーン電力安定供給事業」に対する融資契約の調印（海外投融資）：JICA初のサステナビリティ・リンク・ローン及び三菱UFJ銀行とのサステナブルファイナンス・フレームワーク適用1号案件として最貧困地域における質の高い電力供給及び女性電気技師の参画促進に貢献 | ニュース・広報 - JICA](#)

以上